

## CDI 中国「大健康」月報

(第 23 号: 2025 年 5 月 21 日~2025 年 6 月 20 日)

中国における「大健康」産業とは、医療を中核として、健康食品・サプリメントや健康診断・生活指導から、リハビリ、高齢者向け商品・サービス、スポーツ・レジャーまで、生老病死に関わる広範な領域を対象にした概念を指す。CDI 中国「大健康」月報では、「大健康」産業における日本・中国間の交流促進に資する情報を毎月提供していく。一助となれば幸いである。

### トップニュース

#### EU が中国企業の医療機器入札への参加制限を検討

欧州委員会は最近、「国際調達ツール (IPI)」（下の画像を参照）に基づいて、500 万ユーロ超の EU 医療機器公共入札案件に中国企業が 5 年間参加するのを制限する提案



をした。EU の調査によれば、中国が公共調達で不公平な差別をしている（国産機器の優遇や異常に低い価格設定など）、X線機器やインプラント製品が対象とされている。中国外交部はこれに対し、市場経済の原則と貿易ルールに反し、

保護主義のダブルスタンダードだと強く批判し、合法的権益を断固守ると表明した。EU 中国商会もこの措置が中欧間の医療分野での長期的信頼と協力を脅かす可能性がある」と声明を出している。

### 医療分野における統制・コンプライアンス強化

#### 中央テレビが健康証偽造を暴き、衛健委が複数病院を立件調査

中央テレビの『財經調査』番組（下の画像を参照）が、南寧第六人民病院、天津市銘華医院などで健康証の検診に関し重大な不正が横行していることを暴露した。例えば検査漏れ、他人名義の検査結果、性別入れ替えなどが頻発し、一部の病院では内科検査や X 線胸透を省略し、採血だけで証明書を発行していた。これらは「食品安全に有害な疾病目録」の規定に反し、食品安全や公共衛生に潜在的な脅威を与える。鄭州衛健委は速やかに対応し、二七愛康中医院、金水慧慈医院など病院を立件調査し、健康証発行業務を停止し、罰金や警告を予定している。



事件は労務仲介業者と検査センターが「偽造の流水線」を構築していることを明らかにし、監督の抜け穴を浮き彫りにした。

### **広東省が「薬品リスト規則」発表、薬局と EC の価格優位が打撃**

広東省医療保険局が「薬品掛け網規則（パブリックコメント案）」を発表した。同一企業・同一規格の薬品は全国で同一の掛け網価格とし、生物学的類似品の価格は参照薬の 80% 以下とする。新規規則は薬局の小売価格や EC の“即配”価格を目安に導入し、掛け網価格が目安より 1.3 倍を超える場合、プラットフォームに価格引き下げを促す。これによって薬局や EC の低価格プロモーション戦略に打撃が及び、オンラインとオフラインの価格二重構造時代が終焉を迎える。浙江省は先行して試行を実施し、ある薬が価格超過で掛け網資格を剥奪された。政策は薬価差異の解消と医療保険負担軽減を目指す。企業はオンライン価格を引き上げてオフライン市場を維持する可能性もある。

### **医療保険基金検査（飛行検査）を実施した**

新疆、北京、西藏など多くの地域の医療保障局が第三者サービスを導入し、合計 436 の定点医療機関に対する厳格な医療保険基金検査（飛行検査）を実施した。チェックは「ビッグデータ＋専門チーム」のモデルで行われ、過剰検査、基準超え請求、診療科目のすり替えなどの違反行為に焦点を当て、三甲病院から基層診療所まで広範囲に及んだ。2025 年には省級飛検も同時に始動しており、遼寧省では検査チームの半数以上が第三者機関から派遣されている。最近では海南、寧夏の複数の三甲病院が保険基金の不正利用により巨額の罰金を科され、北京の 4 病院は架空診療で通報された。

### **国家医療保険局が画像検査の価格引き下げを推進、22 省で導入済み**

国家医療保険局は 5 月 22 日のライブ配信解説で、全国 22 省が放射線検査に関する医療サービス価格の標準化を完了し、X 線、CT、MRI など大型装置の検査費用の値下げ段階に入ったと発表。対応は公立病院の通常プロジェクトに向けられ、PET/CT の単一部位検査は一部地域で 5,000 元から 2500 元に、全身スキャンは 6,700 元から 4,980 元に引き下げられた。これは 2024 年 12 月に開始された 7 種類の放射線検査プロジェクトの統治に基づいており、地域間差（X 線 20～70 元の差など）を統合し、歴史データ、人件費、装置集采の価格下げなどを測定して動的に価格を調整している。安徽省が先行実施し、26 項目の標準価格を統合した。

## **病院管理**

### **医療設備市場回復へ、100 億元規模の更新資金が投入、県域医療が成長の中心に**

2025 年、医療設備の更新資金が集中して放出され、1 月の医用画像市場は前年比 47% 成長を記録。国務院は県域医療共同体向けに 100 億元を拠出し、CT や超音波機器などの設備更新を支援。広東省や湖南省など複数の病院による調達案件の合計金額はすでに 9 億元を超えている。政策の後押しにより、国産機器への置き換えが加速し、ディーラーは「政策解釈＋臨床ニーズ」の二軸を備えた営業能力の構築が求められている。

## 西南科技大学医学部が開設、「核医学+医工融合」を特色に

西南科技大学と綿陽四〇四医院の共同設立による医学院（下の画像を参照）が正式に発足した。同学院は、従来学内で分散していた生物医学工学、心理学などの専門領域



を統合し、「核医学イノベーション+医工融合」を主軸に、基礎から臨床・応用に至る一貫教育体制を構築する。重点分野は核医学・バイオ医薬で、臨床需要に応じた教育と研究の一体化が進められる。近年、中国では名門大学による医学部新設が加速しており、70以上の「ダブル一流」大学が相次いで医学院を開設している。

## 医薬品

### 国産のイノベーション新薬が続々と承認、37品目が上市し産業爆発をリード

2025年5月末時点で、中国の国産イノベーション新薬の承認数は37品目に達し、2024年通年とほぼ並ぶ。5月29日だけで11品目が一日に承認された。火石創造のレポートによると、恒瑞医薬、百濟神州、翰森製薬などの主要企業が利益を大幅に伸ばしており、たとえば百濟神州のゼブルチニブは世界売上188億元を記録。イノベーション新薬の海外ライセンス(BD)契約も活発で、年初来で455億ドルを超え、三生製薬とファイザーの60.5億ドル契約は記録を更新。

### NMPAが新薬治験の審査期間を30日に短縮へ

国家薬監局(NMPA)は「イノベーション新薬の臨床試験審査に関する公告(意見募集稿)」(右下の画像を参照)を発表し、対象となる申請の審査期間を従来の60営業日から30日に短縮する方針を示した。

中薬、化薬、生物製剤の1類新薬が対象で、特に国家戦略品目、子供用薬、希少疾患薬、グローバル同時開発品が重点支援される。申請者は臨床機関の能力を証明し、倫理審査と並行し、承認後12週間以内に試験を開始することを約束する必要がある。

この政策は、國務院の薬品・医療

機器監管改革のパイロットから得られた経験に基づき、新薬開発のスピードアップと臨床ニーズの解決を目的としている。下半期には実施され、開発期間を6~12か月短縮できるとされるが、データの改ざんなどのリスクへの対応も求められる。

### 中国イノベーション新薬 BD 契約が10年で急成長、MNCが買収ラッシュ

動脈智库のレポートによれば、過去10年間で中国のイノベーション新薬におけるBD(ライセンス契約)取引額は累計500億ドルを突破し、2025年にはすでに455億ドルを超えている。ファイザーやロシュなど多国籍企業(MNC)は中国における製品ライン

獲得を加速し、主要 MNC の 90%以上が中国のパイプラインと契約している。三生製薬はファイザーと 60.5 億ドルの取引を行い、初期一括支払い金として過去最大額を記録。契約は共同開発へと進化しており、5000 万ドル以上の前払契約の比率は 0%から 42%へと大きく上昇。政策支援、資本力、技術進展が中国市場の成長をけん引しており、同質化リスクの中で FIC/BIC 薬、代謝性疾患、ADC 分野への集中が求められている。アナリストは今後5年で BD 契約は年平均 30%成長し、中国のイノベーション新薬が世界市場の 25%を占めると予測している。

### **翰森製薬のアミバチニブ、英国で承認—初の EGFR-TKI 海外承認**

翰森製薬は、同社の第 3 世代 EGFR 阻害薬「アミバチニブ(商品名:Aumsega)」が英国の医薬品・医療製品規制庁(MHRA)により承認されたと発表。適応は EGFR 変異を有する非小細胞肺癌。承認は AENEAS 試験の結果に基づき、アミバチニブはゲフィチニブに比べ無増悪生存期間(PFS)を大幅に延長(19.3 ヶ月 vs 9.9 ヶ月)した。中国国内ではすでに 4 つの適応症で承認されており、今回の英国進出は中国イノベーション新薬が国際的に認められた重要な一歩とされている。翰森製薬はこれを足がかりに欧州市場をさらに拡大する計画。アナリストは本薬のグローバル販売ピークが 10 億ドルに達する可能性を示す一方で、アストラゼネカのオシメルチニブとの競争も激化すると指摘。政策支援の下、今後さらに多くの国産新薬が欧州で承認される可能性がある。

### **復星医薬の CDK4/6 阻害薬が承認、乳がん治療で国産薬が突破口**

復星医薬は、CDK4/6 阻害剤「フビトニン®(枸橼酸伏維西利カプセル)」が国家薬監局により承認されたと発表。HR 陽性/HER2 陰性の進行乳がん患者を対象とする経口小分子新薬で、2018 年から国家重大新薬創製プロジェクトに採択されていた。臨床試験では無増悪生存期間(PFS)の延長を実現し、副作用も制御可能。復星医薬社は特に未閉経患者において有効性が高いことを強調し、中国における乳がんの若年化傾向と合致すると説明。子会社の奥鴻薬業は腫瘍や中枢神経系などに幅広くパイプラインを展開しており、今回の承認は国産標的薬の技術的突破を象徴する。ただし、競合製品としてファイザーのバルボシクリブ(lbrance)が存在しており、今後の市場シェア争いが注目される。政策支援により、年内に同様の薬剤が続々と上市される見通し。

### **百濟神州が BeOne に社名変更、スイスに本社移転しグローバル化強化**

百濟神州(Nasdaq: ONC)は正式に「BeOne Medicines Ltd.」へ社名変更し、本社登記をケイマン諸島からスイスへ移した。新社名はがん領域におけるグローバルリーダーとしてのポジショニングを反映しており、今後はニュージャージー州の 8 億ドル規模の製造施設拡張を通じてパイプライン拡大を支援する。現在、同社の研究開発チームは 1100 人を超え、2025 年には 13 の新薬を臨床段階に進める計画。臨床試験は世界 45 か国、2.5 万人超の患者を対象に実施中。拠点移転の目的は国際的な運営構造の最適化であり、欧米市場での競争力をさらに強化する狙い。

## 医療機器

### 「中国のテルモ」を目指す瑛泰医療、5.13 億元の大型買収成立

瑛泰医療は 3.24 億元を投じて心血管介入機器企業「唯強医療」(当社の製品は左下の画像を参照)の過半数株式を取得し、総取引額は 5.13 億元に達した。唯強医療は「医工融合型」の心血管製品を開発しており、4 製品が革新医療機器グリーンチャネルに入っているが、2024 年は 5,825 万元の赤字を計上していた。瑛泰はこれまで低価格帯の介入用消耗品を中心に展開していたが、今回の買収により高付加価値の血管介入領域に進出し、「部品供給者」から「治療ソリューション提供者」への転換を図る。



### 聯影医療が自主開発した DSA、FDA の認証を取得する

聯影医療が自主開発したデジタルサブトラクション血管造影システム (DSA)「uAngio AVIVA CX」(右下の画像を参照)が米国 FDA の 510(k)認証を取得し、中国製 DSA として初めて米国市場に進出した。同機器は音声制御、8 軸ロボットアーム、「無音」イメージング技術を搭載しており、放射線被ばくを 70%削減可能。2025 年第 3 四半期には CE 認証の取得も予定されており、グローバルなインターベンション機器分野における国産代替の新たな局面を開く。2024 年以降、聯影はすでに 140 件以上の国際認証を獲得し、そのうち 51 件は FDA の認可を含む。



### サプライチェーン強化へ、Mindray が北米倉庫を拡張

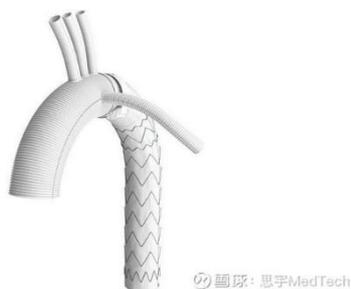
Mindray は米国ニュージャージー州にある倉庫を拡張するため、4 万 6,314 平方フィートを追加取得し、総面積は 8 万 978 平方フィートに達した。2026 年稼働予定の新倉庫は、分散していた物流機能を統合し、注文処理効率を大幅に改善する。倉庫内にはリチウム電池専用保管室が設置され、モニター、超音波、IVD 機器などの米国供給体制を強化。2024 年の Mindray の海外売上比率は 44.75%に達し、北米市場では約 1 万の医療機関をカバーしており、モニター機器の市場シェアはトップ 3 に入る。

### 銘毅智造、C+ラウンド資金調達で国産シーケンサー市場に挑む

深セン銘毅智造は中匯金からの C+ラウンド資金調達を完了し、資金は国産遺伝子シーケンサーの研究開発に活用される。同社の「UniSeq2000」(下の画像を参照)は世界初の単色蛍光シーケンサーであり、すでに全国 400 以上の病院で導入されている。事業は遺伝子機器、分子酵素、DNA 合成、化学合成の 4 領域にまたがり、コア技術ではマイクロフルイディクスチップや原材料の自社供給においてブレイクスルーを実現している。今回の資金調達により、臨床応用への転換を加速し、Illumina など海外大手との競争に挑むことになる。



### 世界初の縫合不要型人工血管ステントが上市、術後死亡率が大幅低下



華脉泰科が開発した一体型人工血管ステント「心岸®」(左側の画像を参照)が NMPA の承認を取得し、Stanford A 型大動脈解離の治療に正式投入された。最大の特長は縫合を不要とする設計で、手術中の輸血量を従来の 2000ml から 200ml に大幅削減。術後 30 日以内の死亡率は 2.7%と、従来の 18~40%から劇的に改善。同製品の粗利率は 70%以上

で、2025 年の市場規模は 11.3 億元と見込まれており、今後の普及が期待されている。

### 健康食品・サプリメント

#### 「クリーンラベル」食品が健康食トレンドの新たな糸口に

618 ショッピングフェスティバルのデータによると、「クリーンラベル」(原材料がシンプルで自然由来の成分が主)の健康食品の売上成長率は、従来の食品カテゴリーの 2~3 倍に達した。特に人気を集めたのは、コールドブリュー養生茶、植物性ヨーグルト、発酵果汁の 3 カテゴリー。

- ・コールドブリュー茶は低温抽出で茶ポリフェノールなどの有効成分を保持し、半年で 2.3 億元を売上
  - ・植物性ヨーグルトは乳糖不耐症層の需要に応え、前年比 180%の成長
  - ・発酵果汁は天然発酵によりプロバイオティクスを保ち、リピート率 45%を記録
- ブランドは、原料のシンプル化、技術導入(例: 超高压殺菌)、ストーリーマーケティングによって市場機会をつかんでいる

#### 特医食品の規制と審査が加速、年間 6 品目が新たに承認

市場監督総局は、特医食品(特殊医学用途配合食品)の臨床的な標準運用を推進し、流通管理制度を整備し、医療機関の運営許可を強化。また、応用シナリオの拡大も模索している。2025 年には 3 品目の優先審査対象が追加され、通年で 6 製品が正式承認された。最新バッチでは、電解質、タンパク質構成、完全栄養フォーミュラの 5 製品が承認され、術前栄養補給や代謝障害などに使用される。中国国内で承認された特医食品は累計 263 品目に達し、うち完全栄養型が最多を占める。

#### 輸入保健食品の備案制が加速、2025 年第一弾 11 製品が登録完了

2025 年、輸入保健食品の備案(届出/登録)制度が加速し、第一弾として米国

Williams 製薬、オーストラリア・ニュージーランドの Vita Health、Isomer 社の計 3 社から、合計 11 製品が正式に登録された。これら製品は主に基礎的な栄養補給を目的とし、ビタミン D ソフトカプセル、ビタミン B 群錠剤、カルシウム+ビタミン D 錠などが含まれる。剤型はソフトカプセルやチュアブル錠など多様化しており、政策の開放により海外ブランドが中国市場へ積極展開している。消費者の多様化した輸入保健食品ニーズに応える形で、市場競争がさらに激化する見通しである。

## デジタル医療分野

### 聯影智能は、A ラウンドにて 10 億元の資金調達を完成

ユニインテリジェント(聯影智能)は、イーファンダー(易方達)と上海国有投資管理公司がリードインベスターを務め、十数社の機関投資家が参加する形で、シリーズ A ラウンドにて 10 億元の資金調達を完了した。

同社は医療 AI 分野に特化しており、すでに画像解析・スマート診断・疾病予測をカバーする 100 種類以上の製品を展開している。うち数十の製品が中国・アメリカ・ヨーロッパでの認証を取得済み。

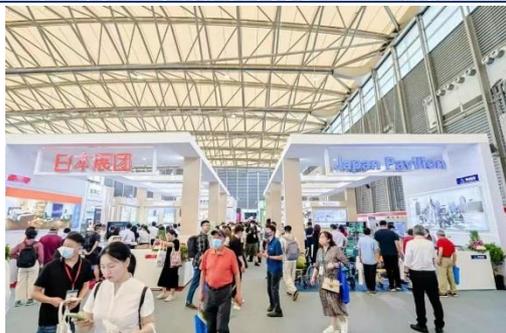
今回の資金は、医療向け大規模 AI モデルの研究開発加速、製品の実用化推進、市場開拓の強化に充てられる予定。ユニインテリジェントは、グローバルなスマート医療イノベーションのリーダーとなることを目指し、臨床診療のインテリジェントなアップグレードを推進していく方針。

## 養老産業(シルバー産業や介護)

### 上海のスマート介護施設建設が加速、2025 年に 100 施設以上を目指す

上海市は 2025 年末までに 100 カ所以上のスマート介護施設の建設を目指しており、現時点ですでに 70 カ所以上が完成済み。例として、金楊養老院では「生体レーダー式バイタルサインモニター」を導入し、非接触型の睡眠監視が実現されている。また、世博家園養老院ではスマートランドリーシステムによって運営効率が向上。「AI 執事+ケア執事」モデル(例:福寿康の“パーソナルケア”)を導入することで、「予防-対応-リハビリ」のケアサイクルが完成し、介護の科学化が推進されている。

### 上海老博会(高齢者博覧会)の規模が過去最大に、シニア消費市場が活況



2025 年の上海老博会は 16 カ国・約 500 社が出展し、展示面積は過去最高の 5 万平方メートルに拡大。2025 年老博会(シニア博覧会、下の画像をご参照)には延べ 8 万人が来場し、実際に高齢者の来場比率が顕著に上昇。これは介護産業と需要側のマッチング効率が大幅に改善されていることを示している。注目製品は、自動運転車椅子、ペア酸素カプセル、スマート心電図シャツなどの高齢者向けスマート製品。「銀髪ライフフェスティバル」と「5 月 5 日購買祭」が連動し、最大 30%の補助金付きで健康食品、

バリアフリー家具、シニア向け観光などが人気カテゴリーに。上海消費者保護委員会のレポートによれば、新世代高齢者の68%が高品質商品に対してプレミアム価格を受け入れ、主要消費シーンは健康養生(58%)、旅行・交流(53%)、趣味(45%)となっている。

以上

日本語校閲：外山 一成

#### お問い合わせ先:

■ 嚴 偉 (CDI 上海オフィス)

□ Email: yan@cdi-china.com

Mobile: +86-183-2198-1922

■ 崔 浩 (CDI 上海オフィス)

□ Email: hao.cui@cdi-china.com

Mobile: +86-188-1736-2183

#### コーポレートディレクション 上海オフィス

コーポレートディレクション(CDI)は、1986年に米系コンサルティングファームBCGから10名が独立して設立した、日本初の独立系戦略コンサルティングファーム。2008年上海オフィス設立を皮切りに、現在ではアジア5箇所に現地拠点を有する。

上海オフィスでは、主に日本企業の中国参入戦略立案、戦略再構築、及び実行に伴う組織業務改革、中国企業との提携支援等を提供。一方で、中国企業をクライアントとした日系企業との提携支援も行っている。